



プラットフォームイベントフィルタの設定

この章は、次の内容で構成されています。

- プラットフォームイベントフィルタ, 1 ページ
- プラットフォームイベントアラートのイネーブル化, 1 ページ
- プラットフォームイベントアラートのディセーブル化, 2 ページ
- プラットフォームイベントフィルタの設定, 3 ページ

プラットフォームイベントフィルタ

プラットフォームイベントフィルタ (PEF) は、アクションをトリガーしたり、ハードウェア関連の重要なイベントが発生したときはアラートを生成したりできます。PEFごとに、プラットフォームイベントが発生したときに実行するアクション（またはアクションを実行しないこと）を選択できます。また、プラットフォームイベントが発生したときにアラートを生成して送信することもできます。アラートは SNMP トラップとして送信されるので、アラートを送信するには、先に SNMP トラップの宛先を設定する必要があります。

プラットフォームイベントアラートの生成はグローバルにイネーブルまたはディセーブルにできます。ディセーブルにすると、PEF がアラートを送信するように設定されていても、アラートは送信されません。

プラットフォームイベントアラートのイネーブル化

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# scope fault	障害コマンド モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	Server /fault # set platform-event-enabled yes	プラットフォームイベントアラートをイネーブルにします。
ステップ 3	Server /fault # commit	トランザクションをシステムの設定にコミットします。
ステップ 4	Server /fault # show [detail]	(任意) プラットフォームイベントアラートの設定を表示します。

次に、プラットフォームイベントアラートをイネーブルにする例を示します。

```
Server# scope fault
Server /fault # set platform-event-enabled yes
Server /fault *# commit
Server /fault # show
Platform Event Enabled
-----
yes
Server /fault #
```

プラットフォームイベントアラートのディセーブル化

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# scope fault	障害コマンドモードを開始します。
ステップ 2	Server /fault # set platform-event-enabled no	プラットフォームイベントアラートをディセーブルにします。
ステップ 3	Server /fault # commit	トランザクションをシステムの設定にコミットします。
ステップ 4	Server /fault # show [detail]	(任意) プラットフォームイベントアラートの設定を表示します。

次に、プラットフォームイベントアラートをディセーブルにする例を示します。

```
Server# scope fault
Server /fault # set platform-event-enabled no
Server /fault *# commit
Server /fault # show
Platform Event Enabled
-----
no
```

```
Server /fault #
```

プラットフォームイベントフィルタの設定

次のプラットフォームイベントフィルタに対する処理とアラートを設定できます。

ID	プラットフォームイベントフィルタ
1	温度緊急アサート フィルタ
2	温度警告アサート フィルタ
3	電圧緊急アサート フィルタ
4	プロセッサアサート フィルタ
5	メモリ緊急アサート フィルタ
6	ドライブスロットアサート フィルタ
7	LSI緊急アサート フィルタ
8	LSI警告アサート フィルタ

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	Server# scope fault	障害コマンドモードを開始します。
ステップ2	Server /fault # scope pef id	指定したイベントに対してプラットフォームイベントフィルタコマンドモードを開始します。 イベントID番号に対応するプラットフォームイベントフィルタの表を参照してください。
ステップ3	Server /fault/pef # set action {none reboot power-cycle power-off}	このイベントが発生した場合に必要なシステムの処理を選択します。次のいずれかの処理を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • none : システムアクションは実行されません。 • reboot : サーバがリブートされます。 • power-cycle : サーバの電源が再投入されます。 • power-off : サーバの電源がオフになります。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ4	Server /fault/pef# set send-alert {yes no}	このイベントに対するプラットフォームイベントアラートの送信をイネーブルまたはディセーブルにします。 (注) 送信するアラートについて、フィルタ ラップを正しく設定し、プラットフォームイベントアラートをイネーブルにする必要があります。
ステップ5	Server /fault/pef# commit	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

次に、イベントに対するプラットフォームイベントアラートを設定します。

```
Server# scope fault
Server /fault # scope pef 1
Server /fault/pef # set action reboot
Server /fault/pef # set send-alert yes
Server /fault/pef *# commit
Server /fault/pef # show
Platform Event Filter Event Action Send Alert
-----
1 Temperature Critical Assert Filter reboot yes
Server /fault/pef #
```

次の作業

PEF を設定してアラートを送信する場合は、次のタスクを完了させます。

- プラットフォームイベントアラートのイネーブル化
- SNMP トラップ設定の実行